

学校現場の声を聴くこと（方法・対象）

方法1 ヒアリング

（1）学校への訪問、あるいは一か所に集まっていただくことにより、直接、学校現場の声を聴く

【対象例】 小規模校 中規模校 大規模校 都心部 郊外 など

- ・聞きたいことについて、一対一で聞くことができる。
- ・日時の調整が必要である。規模や立地を考慮して選ぶ必要がある。

（2）教育センター研修を活用して、直接、学校現場の声を聴く

【対象例】 教職経験1年目 教職経験5年目 養護教諭 教頭・校長 など

- ・様々な学校の教員の意見を聴くことができる。
- ・もともとの研修内容があり、講師がいるので、声を聴くことができる場面や時間が限定される。

方法2 アンケート

（1）無料アンケート作成ソフト（Google フォーム）、文書で新たに各学校に依頼する

- ・比較的多くの教員を対象とできるため、市全体としての傾向をつかむことができる。
- ・外部クラウドを使用する際は、質問項目について吟味する必要がある。

（2）既存のアンケート結果を活用する

- ・目的外使用とならないように考えると、既存のアンケートとして活用できそうなものは見当たらない。

方法3 データの活用

（1）仙台市生活・学習状況調査の結果を活用する

- ・仙台市の結果分析として公表されている。
- ・児童の実態を経年変化で捉えることができる。
- ・児童の実態から、教員の声をどのように捉えるか。